

三河商人道

PART
169

近藤紙工有限会社

代表取締役

近藤知之 君

青年部とは 2回目の青春



【会社・仕事への思い】

前職は金沢で司法書士事務所に勤務。先代が倒れたことがきっかけとなり平成2年に会社を継ぐため岡崎に戻ることになる。元々商売をしたいという気持ちが強く、新しい挑戦を楽しむことができたそうです。仕事をすればするほど、会社のことが好きになっていき、「30歳頃には天職だと思えた」と自信に満ちた顔をされていました。自分の作った本を多くの人に見てもらいたいという気持ちは今でも益々充実してきているそうです。

時代の流れで電子本が広まりつつあるが、本は形としていつまでも残り、インク、紙の匂いの良さがある。手に取って温かみのある本を今後も作り続けていきたいと仕事への熱い想いを語って頂きました。

【青年部に入会されたきっかけ】

先代が昔務めていたヨシノ印刷の吉川先輩の紹介で平成9年入会。いろいろな会にも誘われては断り続けていたが、入会前に当時の事業「商人塾」に2、3回オブザーブ出席させていただき、面白そうと思い入会を決められたそうです。

【思い出に残る青年部活動】

事業として一番思い出深いのは10周年記念事業。中央総合公園で印刷関連ブースを出展した時、当時出たてのデジカメを使い、Tシャツやカレンダーをその場で制作したそうです。午前中だけで準備した300枚が完売するほど大盛況だったそうです。入会間もなく何もわからなかったそうですが、夢中でやったので鮮明に覚えていますと楽しそうにお話し頂きました。

逆に委員長を受けた年、第2回予定者理事会の日に「3.11」が起り交通、通信関係が麻痺し、理事会に遅刻。そんな日でも遅刻したのは一人だけで、先輩にめちゃくちゃ怒られたそうです。「そんな理不尽なあ」とも思いましたがフォローしてくれる先輩もいて救われましたと苦い思い出も話してくれました。

【趣味など】

趣味の一つはゴルフ。若いうちから始めたけれど、90台は稀でほとんどが100オーバー。最近はずっと楽しんでいるそうです。今は嫁といることが楽しみ！と愛妻家ぶりを発揮。そうです。若くて綺麗な奥様なんです。このあとはノロケで面白くありませんでした(笑)

【青年部とは・・・】

「青年部とは2回目の青春」

もっと遊べ！もっとゆるくやろうよ。

ゆるいばかりじゃあ駄目だけどもメリハリが必要だよ！

と、メッセージをくれた近藤先輩。了解しました！遊びます！ゆるゆるでいこうと思います！メリハリつけて活動していきます。ありがとうございました！！



取材担当／研修委員会
鈴木隆文、福田智士
加藤 淳、神谷 浩
須藤 剛、仰木香り
水島隆章、小林正和
安藤紀朋